

PLANT MORPHOLOGY 投稿規定

(2025年 9月 17日 改正)

PLANT MORPHOLOGY は、日本植物形態学会が発行するオープンアクセスジャーナルである。本誌が対象とする論文は、植物形態学ならびに関連分野に関するもので、原著論文および総説とする。

倫理方針

他の雑誌・書籍等にすでに掲載された内容を含む原稿や、他の雑誌等に投稿中の原稿は原著論文としてこれを投稿できない。例外として、原著論文の原稿を bioRxiv や Jxiv のようなプレプリントサーバーへ登録することができる。この場合、PLANT MORPHOLOGY オンライン版の出版後、プレプリントサーバー上で当該論文へのリンクを表示しなくてはならない。

総説などにおいて、図・表・文章など出版済みの内容を転載している場合には、投稿前に著作権所持者の許可を取るとともに、著作権所持者の指示に従う形で引用元を明記すること。この規定に反した場合、また、データの捏造や他の著作物からの盗用など、科学的ないし社会的倫理に反する行為が判明した場合には、編集委員会は掲載決定後あるいは掲載後においてもその原稿の掲載取り消しを行うことができる。

投稿資格

本会学会誌に投稿する者は、原則として本会員に限る。ただし、編集委員会が認めた場合はこの限りではない。

原稿の準備

原稿は英文または和文とする。テキストは一編につき一つの MS-Word 形式のファイルで作成すること。和文原稿のフォントは MS 明朝、英文原稿は Times New Roman を用いる。英文は著者の責任において、英語を母国語とする人に校閲してもらうこと。

テキストの内容は (a) 表題 (b) 著者名 (c) 所属先と所在地および Author for correspondence (氏名と電子メールアドレスを英語住所の後に記載) (d) 要旨 (和文 600 字以内、英文 1200 字以内) (e) Key words (3 語以上 5 語以内) (f) 本文 (和文 10,000 字以内、英文 20,000 字以内) (g) 引用文献からなる。ただし、和文の場合は英文の要旨 (表題、著者名、所属を含む。フォントは Times New Roman) を添える。

文献の表記は以下の i)、ii)を参照すること。

i) 本文中に引用する文献の表記

- ・ Marcus ら (2005) が指摘しているように・・・。
- ・ ……と考えられている (Pickett-Heaps and Northcote 1966a, 1966b, Favery et al. 2004)。

ii) 引用文献リストの表記

筆頭著者名でアルファベット順に並べること。雑誌名は略称とする。著者数が 10 名を超える場合は、記載は 10 名までとし、著者名のあとに英文の場合は「et al.」、和文の場合は「ら」と記載する。

Farrar, D. R., Dasler, C., Watkins, J. E., and Skelton, C. (2008) Gametophyte ecology. In: Ranker, T. A., and Haufler, C. H. (eds) *Biology and evolution of ferns and lycophytes*. Cambridge Univ. Press, Cambridge, pp. 222-256.

Hirose, Y., Yonekawa, C., Nagao, N., Watanabe, M., Ikeuchi, M., and Eki, T. Characterization of the genuine type 2 chromatic acclimation in the two *Geminocystis* cyanobacteria. *DNA Res* (in press).

Matsubayashi, Y. and Sakagami, Y. (1996) Phytosulfokine, sulfated peptides that induce the proliferation of single mesophyll cells of *Asparagus officinalis* L. *Proc Natl Acad Sci USA* 93: 7623-7627.

Sakamoto, Y., Ishimoto, A., Sakai, Y., Sato, M., Nishihama, R., Abe, K., Sano, Y., Furuichi, T., Tsuji, H., Kohchi, T., et al. (2022) Improved clearing method contributes to deep imaging of plant organs. *Commun Biol* 5: 12.

内山聖一、岡部弘基、稲田のりこ (2012) 蛍光寿命測定による細胞内温度分布イメージング 光化学

図、写真、表の元データファイル（JPEG、EPS、TIFF 形式のいずれか）は、360 dpi 以上の解像度で作成する。

図、写真、表、図の説明文は MS-Word 形式のファイル本文中の希望箇所に挿入する。図の大きさについては指定されない場合、版下の作成時に適宜調節される。縮小を避けたい場合は、入稿時に図のサイズを指定すること（横幅が 1 カラムか 2 カラムかなど）。

投稿

投稿する者は、日本植物形態学会編集委員長に以下のものを電子メールで送付すること。投稿原稿のファイル（MS-Word および PDF）と図、写真、表の元データファイル。

原著論文の場合、投稿時に査読者の候補（氏名、所属、電子メールアドレス）を 3 名程度記入すること。

査読

原稿の審査は編集委員と当該分野の専門家がを行い、原稿の採否は編集委員会の決定による。

採択された原稿

初校は著者の責任において行う。

料金

掲載料は、論文あたり 3 万円（2 頁以内の場合は 1 万円）とする。ただし、非会員による招待論文については掲載料を徴収しない。

カラー頁が含まれる場合、J-STAGE における PDF 版としてはカラー頁のまま公開される。印刷版にもカラー頁を希望する場合は、カラー頁チャージとして 1 頁あたり 1 万円を著者負担とする（希望がなければモノクロ印刷となる）。別刷り分のカラー印刷の費用も別途著者負担とする（印刷版にカラー頁を希望しない場合は、別刷りもモノクロ印刷となる）。

著作権と再利用

本学会誌に掲載された論文の国内外における著作権（著作権法第 21 条から第 28 条までの権利を含む）は、日本植物形態学会に帰属する。すべての論文はオープンアクセスとし、クリエイティブ・コモンズ CC BY-NC-ND 4.0 国際ライセンスに基づいて出版される。このライセンスは、原作者のクレジット（氏名、論文タイトルなど）を表示し、かつ非営利目的であり、そして元の図を改変しないことを条件に、本学会誌に掲載された論文を無償かつ出版社や著者の事前承諾を得ることなく使用することを許可するものである。

また、CC BY-NC-ND 4.0 に基づいて、著者本人が PLANT MORPHOLOGY 誌に掲載された論文を、著者個人の Web ページあるいは所属機関の Web ページ（機関リポジトリを含む）でインターネット公開することを許可する。著者本人がインターネット上で公開することができる論文の形態は、PLANT MORPHOLOGY 巻数、ページ数、CC BY-NC-ND 4.0 国際ライセンス、および、論文の著作権が日本植物形態学会に帰することが明記されている PDF ファイルとする。

原稿送付先：日本植物形態学会編集委員長 稲田のりこ
〒599-8531 大阪府堺市中区学園町 1-1
大阪公立大学農学部応用生物科学科
Tel : 072-254-9463
e-mail : norikoinada@omu.ac.jp